

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ギア・ゴリアテ		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG 0.054	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール

テストボール：ギア・ゴリアテ

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

研磨剤

番

比較対照ボール：トータル・ギア

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

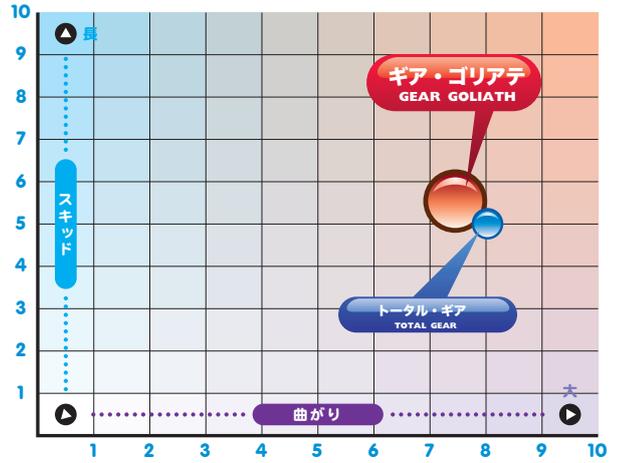
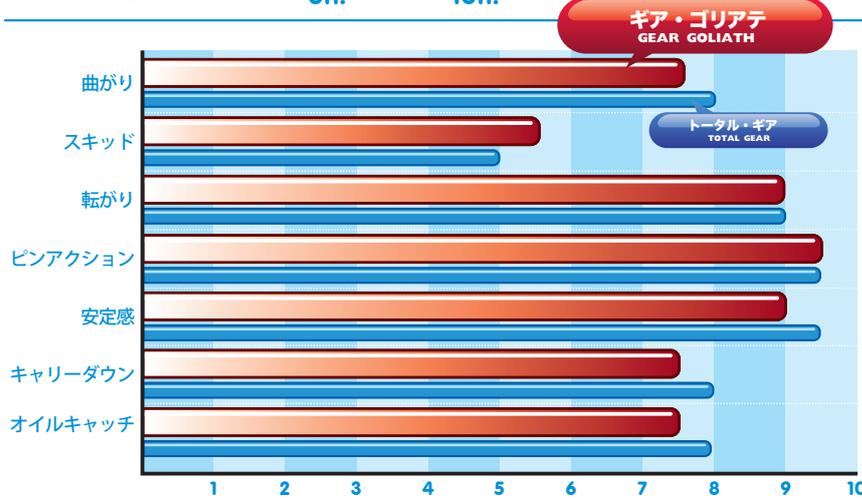
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ABSは今までDREAMからGEARにモデルチェンジされてからも様々な角度からIdentity Asymmetric Coreの良さを伝えてきました。このコアは特に「とにかく良く転がり続ける」のが第一印象で、Continuous系の中でもかなり高いレベルで転がり続けるイメージで、放たれた瞬間からピンヒットまで転がり続ける感じは、自分の転がり以上のものを感じさせてくれます。

このGEAR GoliathはいくつものGEARのサンプルボールの中から一つ選ばれた、GEARの代表的ともいえるパフォーマンスがでるボールで、私のイメージでは初代DREAMに程よく似ているオイルに強めのPearl素材、ミッドエリアでの曲がり始めの安定感、軌道が読みやすく扱いやすさとピンに絡むような柔らかく低く飛ぶピンキャリアも、転がり続けることがあってその相乗効果であると感じています。

このGEAR Goliathはテスト段階で900Global男子キャプテン和田秀和プロがパーフェクトを出すなど、発売以前から問い合わせが多いボールです。無駄に嘸まずに滑り過ぎない。寄ってくるイメージでやや薄めと思ってもピンをすくうような倒れ方は、このボールの対応領域の広さとポケットのリカバリー幅の広さも物語っています。私は今回GEAR SSと動画撮影を行いました。GoliathとGEAR SSではGEAR SSのほうが曲がり始めが早く、柔らかくキれるのに対し、Goliathのほうがやや先まで行きながら柔らかい切れ込みを魅せます。今回のコンディションではGoliathのほうが奥でキレが強いと思わせる動きも見えるので、GEAR SSの代わりを探していた方は、ややドリルレイアウトを強めに設定して持って頂くと気に入って頂けるでしょう。

特記事項

そのまま使用するもよし。やや表面を曇らせ、やや上の領域で活かすもよし。
このようなボールはGEAR SS同様用途が広く、多くのシーンで使用して頂けると幸いです。